

第 15 回 全日本学生フォーミュラ大会 ローカル規則 第 3 号

2017 年 7 月 5 日発効

この文書は、第 15 回 全日本 学生フォーミュラ大会において適用するローカル規則を大会参加チームに周知するものである。追加のローカル規則が必要となった場合、順次 JSAE ウェブサイト上に掲載する。本ローカル規則は第 15 回大会でのみ有効である。

第 15 回 全日本 学生フォーミュラ大会 ルール委員会

●走行(動的関係)

J2017-45 アクセラレーション、スキッドパッド、オートクロスの出走について。(関連規則 2017-18FSAE® D4,5,6,7)

1. ICV と EV は混走となる。(走行時間帯を区分しない)
2. 各イベントの各ヒート走行に於いて、1 ドライバーの 2 回連続走行とし、1 回目走行終了後にスタート待機列に並ぶ。従って、マシントラブル等で、1 回目の走行で取りやめた場合は 2 回目の走行は出来ない。
3. 1 回目走行開始指示(オフィシャルのスタート指示)前に走行を取りやめた場合は、再度、スタートレーン待機列に並び直すことにより、スタートが許される。

J2017-46 エンデュランス及び消費効率イベントの出走について。(関連規則 2017-18FSAE® D8)

1. オートクロスイベントに出走し、ICV と EV 全車の中で一番速いラップタイム(ペナルティを含む、以下同様)の ICV は 133%、EV は 145%以内のラップタイムを記録されていなければ、エンデュランス及び消費効率イベントの出走資格が与えられない。
2. オートクロスイベントのラップタイムの順位により、ICV と EV それぞれの速い順に A、B、C のグループ分けを行い、9/8(金)に B,C グループ、9/9(土)に A グループの審査を行う。
3. 各グループの出走順は、B,C グループは速い順でスタートし、A グループは遅い順のスタートとする。
4. 規則 2017-18FSAE® D8.15.1 項の145%ルール適応は、規則内容の“fastest lap time”をオートクロスイベントの一番速いラップタイムを基に補正係数を使用して設定し、事前に145%の基準タイムを告知する。
5. 同時にコースを走る車両台数は2～3台とする。

※ 但し、天候等の状況により上記 J2017-46 規則を変更する場合は有り、変更する場合は事前に告知する。(関連規則 2017-18FSAE® D2)

J2017-47 エンデュランス走行でのコーンペナルティについて。(関連規則 2017-18FSAE® D8.18)

エンデュランス走行において、コーンペナルティ9以降は1の単位を繰り上げ10単位でカウントし、30秒のペナルティとする。但し30ペナルティ以降はDNFになることがある。

※ 1～9 ペナルティ=ペナルティ回数×2秒、10 ペナルティ=30秒、
11～20 ペナルティ=60秒、21～30 ペナルティ=90秒